

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ Bizスタ仙台 ]

# 2018 01

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.022-716-1711 FAX.022-716-1710  
http://www.dac-group.co.jp

企画・制作/株式会社ディー・インフォメーション東北支社  
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-27 プライムスクエア広瀬通14F  
© 2018 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



## 妥協しない、最上位のSUVスタイル。 — All New MAZDA CX-8 —

世界的なブームが巻き起こっているSUV。いまやイタリアのスポーツカーブランドまでがラインナップに加えるほどの人気ぶりだが、輸入車が存在感を示してきた日本市場でも、ミニバンからSUVへと移行する潮流が本格化している。このトレンドを牽引する役割を果たすのが、ご存じ「マツダ」だ。

同社のSUVと言えば、次世代クリーンディーゼル技術「スカイアクティブ」テクノロジーを導入して大ヒットを記録した「CX-5」が記憶にも新しい。今回の「ニューモデル」投入は、その好調を象徴するものと捉えてよいだろう。昨年末にデビューを果たした新型クロスオーバーSUV「CX-8」は、マツダの国内向けSUVラインの最上位にあたる3列シート車だ。同社の伝統とも言つべき先端デザインが印象的で、街乗りにもロングツーリングにも対応する「走りの楽しみ」が満載されている。

**圧倒的な品格と上質感  
国産SUVに有力な選択肢**

実車の前に立つと、まずフォルムの美しさに目をみはる。フロントグリルまわりは、あのCX-5で絶賛を浴びた「魂動(こどう)」デザインを継承。リヤは新されており、「タイムレス・エッジ」と呼ばれる新コンセプトでまとめられた。時代に流されない普遍的な美

しさと上質感によって国産SUVの新時代を思わせる申し分ない出来だ。

3列シート車のデザインと言え、車体のサイドに回って少し落胆した経験がある人も多いだろう。というのも、多人数車はどうしても腰高となりがちだからだ。マツダは美しいプロポーションづくりに定評があるが、CX-8ではそのデザイン力がいっそう際立つ形となっている。

上の写真を見て、多人数車独特の腰高感を感じることはまずないだろう。見た瞬間は高級ステーションワゴンかと思うほどの流麗なラインを構築している。また、そのフォルムの美しさをさらに強調しているのが、ボディ表面の質感だ。光の変化で「格」の違いを漂わせつつ、たとえばショルダーク部の張り出しからはSUVらしい力強さも伝わってくる。同社の国内最上位モデルに対する気概が目に見えるような仕上がりがだ。

家族や友人と気軽にドライブを楽しみたい。でも、走りやデザインを諦めたくはない。SUVの進化によって「両得」を求めるユーザーが増えているが、CX-8はまさにこうした声に応えるニューモデルだ。多人数乗用車に有力な選択肢が登場したわけだが、その実際はどうなのか。今回は、販売が始まったばかりの期待の「ニューフェイス」の見どころを俯瞰してみよう。

早くも各メディアで話題が沸騰中。デビュー直後の最新SUV「CX-8」の実力を、次ページで詳しく検証!



My Favorite Life Style



# 走る喜びと上質さを両立させた プレミアム3列シートSUV。

それではステアリングを握って試乗へと出かけよう。CX-8は、走りの面でも「人の感覚に合った気持ちのよい走り」を目指すマツダの最新技術の宝庫だ。同社はこれを「人馬一体」という言葉で表現しているが、実際はそうなのだろうか。

表紙でもご紹介した通り、CX-8では同社の新たな顔となったクリーンディーゼルエンジンが採用された。「スカイアクティブD2」と名付けられた最新エンジンで、少量の燃料を多段階かつ高圧で微細噴霧化して噴射することで、静粛性と燃焼効率、高い環境性能を両立する「急速多段燃焼」を実現したとのことだ。最高出力は140kW、最大トルクは420N・mへと大きく引き上げられている。

**走行性能から安全性能まで「走る楽しさ」を高次元に凝縮**

アクセルを踏んですぐに感じるのが、出足の鋭さとブレーキのスムーズさだ。パワフルなクリーンディーセルと6速ATのスカイアクティブドライブ。そして新世代4WDシステム「アイアクティブAWD」のコントロールはさすがのひとこと。加速・減速と制動感はいずれも非常に安定している。一人で乗った際は当然だが、とりわけ大人数を乗せても制動感が大きく揺れないのは大きなポイントだろう。ステアリング操作に応じてエンジンの駆動トルクを制御する「i-ベクタリングコントロール」の威力も絶大だ。

加減速の感覚が円滑かつ明瞭で、ハンドルは穏やかに切れる印象なので、走るのが楽しい。たとえるなら「優雅な乗馬」と



いったころだろうか、風景を楽しむながらのロングドライブは特に楽しいひとときとなるだろう。人馬体と表現も「なるほど」と納得できるスムーズな乗り心地だが、特に大人数でもバランス感が崩れないのは素晴らしいと感じる。

インテリアから走りまで「エンジンは最上位モデル」という感想ばかりなのだが、それは静粛性でも変わらない。室内の天井部やドアノブ付近に吸音材が配置されているようで、確かに2列目でも列目でも、普段の音量で普通に聴き取れた。また、安全性も充実している。「マツダ」の安全思想に基づいて開発されたという先進の安全技術「アイアクティブセンス」が標準装備されており、4つのカメラ映像を切り替える360度のビューモニターから、後面衝突時の3列目乗員の保護に主眼を置いた軽量高剛性ボディ、スカイアクティブボディまで安心感も折り紙付きだ。

パリエーションは3モデルで計6種が用意されている。試乗の際は、コストパフォーマンスの高さの確認もお忘れな。

## 3列シート車とは思えない力強くなめらかな走り 進化したクリーンディーゼルエンジンの実力

だが、CX-8の内装で特筆したいのは、実は2列目シートの居住性だ。グレードによらず3タイプが用意されており、XDR・XDRフロアクランプでは6・4分割のベンチシートとセンターウォークスルーが可能な



アウトラインに耳を傾けているだけでも高揚感に包まれるマツダのハイエンドSUV「CX-8」は、この新型車にしては少し詳しく眺めてみよう。運転席のドアを開けると、外観で抱いた期待に違わず光景が目に飛び込んでくる。まず目が行くのがインパネ周辺だ。シートなコントロール感がたまらない専用コントロールから、左右対称に配置された水平基調の機器類へ。ゆとりとした空間を引き締める適度な緊張感に包まれる。一歩の予感に背中を押し出すにはほろろり、少し落ちついた、ゆるり周囲を眺めてみよう。今度は、インテリアに改めて驚く。CX-8では「本物の素材感がキーボードのひとこととなっているが、何とエレクトロニクスモイロという本家パネルからブラックのルーフトリムまでエグゼクティブの書斎を連想するような質感が凄い。この日本車離れした内装はCX-8の大きな特徴となているのだが、特に居住性に関するものであれば、ナットリザーを採用した最上級グレードの「XDR」パッケージの試乗を強くおすすめする。

卓抜された乗り心地は走りも追求したマツダならではの配慮がなせる技

キャブテンシートを通るXDRパッケージのキャブテンシートでは、コントロールボックスにフリアムセタンのようなアームレストが付く。なお、シートはいずれも200ミリのロングスライディングが可能となっている。

座ってみると、シアターレイアウトの解放感が十分に展開されていることが分かる。ゆったりと身体を収めることができるので、これなら道中に調理した軽食も窮屈せずに食べられる。また、3列目に関しては2列目のシート下にまず先を置けるスペースが用意されている。3列シートで十分な快適性を得ようとするなら、3列目を第一候補に考えよう。だが、CX-8には想像がつかないほどのゆとりを誇る。圧倒的な止まり心地を一度試乗したら「もう3列目には戻れない」と感じても仕方のないだろう。

現代のSUVは「どこまでかきこえる」と語りかけてくるようなインテリアは見る価値ありだ。

## 3列シートで「諦めなければならなかったものを妥協せずに作る」というマツダの最新SUV「CX-8」の魅力とは。

# Be a driver.

もっともっと、人とひとつになるクルマを。



ATENZA AXELA CX-3 DEMIO ROADSTER CX-5



My Favorite Life Style



東北4県37店舗全店にCX-8試乗車を配備  
ご試乗は「東北マツダ」各ショールームで。

1931年、3輪トラックの開発から始まったマツダ。前身の「東洋工業」時代からクラス最高性能と最大積載量の実現、エンジンを含む各種部品の国産化、貫いた量産体制の確立を標榜し、数々の新技術を送り出してきた。世界初のロータリーエンジンを搭載した量産車として大ヒットした「コスモスポーツ」をはじめ名車は非常に多いが、これらはいずれも当時の革新技術に彩られたもの。その挑戦心が今も引き継がれているのは、ここまでご紹介してきたCX-8からも読み取れる通りだ。

東洋工業の10年後に創業した「東北マツダ」は、秋田、岩手、宮城、山形の4県を股にかける正規ディーラーだ。長年にわたりマツダ車を知り尽くす高度なサービス技術を背景に、購入はもちろん車検・点検・整備でも「安心」「安全」「快適」を最優先するネットワークを構築。また、各店舗にはマツダ独自のサービス診断機「M・MDS」を配備し、マツダ最新の電子コントロールシステムの点検・診断にも即応可能となっている。メンテナンスパッケージプランの販売から独自の愛車コーティングサービスまで、すべてを任せられる安心感で非常に評価が高い。

安心と信頼の老舗ディーラー

CX-8をはじめとする最新車種から、状態のよい掘り出し物の中古車まで。注目車種の試乗のほか、低金利プランなどお得な情報も入手できるので、ぜひ店頭へ出かけてみよう。なお、試乗可能車種については、下記リストの最寄り店まで。



長町店



秋田本店

宮城事業部

佐沼店	TEL.0220-22-3011
古川店	TEL.0229-23-1171
古川カーランド	TEL.0229-21-8680
石巻店	TEL.0225-23-1445
富谷店	TEL.022-348-0310
泉店	TEL.022-372-1311
南吉成店	TEL.022-303-2930
多賀城店	TEL.022-361-1360
日の出店	TEL.022-236-3211
小田原店	TEL.022-297-2111
六丁目店	TEL.022-287-3151
長町店	TEL.022-304-4533
名取店	TEL.022-384-1241
柴田店	TEL.0224-55-5211

山形事業部

酒田店	TEL.0234-23-2211
新庄店	TEL.0233-22-6844
鶴岡店	TEL.0235-22-8315
寒河江店	TEL.0237-86-0211
天童店	TEL.023-654-1060
北町店	TEL.023-684-6021
山形本店	TEL.023-622-9170
南陽店	TEL.0238-43-5111
米沢店	TEL.0238-37-3105

秋田事業部

大館店	TEL.0186-42-3815
能代店	TEL.0185-52-7113
秋田北店	TEL.018-845-3211
中央店	TEL.018-862-5151
秋田本店	TEL.018-823-7561
大曲店	TEL.0187-63-2323
横手店	TEL.0182-32-3401
本荘店	TEL.0184-22-1447

岩手事業部

上堂店	TEL.019-641-3633
都南店	TEL.019-636-0611
花巻店	TEL.0198-23-277
北上店	TEL.0197-68-2211
水沢店	TEL.0197-24-2028
一関店	TEL.0191-23-6219

ビズスタ特典



ご来店の方先着で「Be a driver」ノート(非売品)をプレゼント

※数に限りがございますので、在庫がなくなり次第終了とさせていただきます。  
※店頭でビズスタを見たお伝えください。

ビズスタ読者アンケート

読者アンケートにご回答の方に抽選で東北マツダより素敵なプレゼントが当たる

A.深山荘 高見屋様 ペア宿泊券を1組様  
B.ディナーお食事券5,000円分を4名様



深山荘 外観

- プレゼント応募方法  
①下記URLまたはQRからプレゼント応募アンケートページへアクセス  
②応募フォームのアンケートに必要事項を入力 ③応募完了。プレゼントの当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます
- 読者アンケートPC版 <https://questant.jp/q/tohokumazda>
- プレゼント応募締切:2018年2月18日(日)まで



読者アンケートはこちら!